

日本共産党えんど久子市議 6月市議会で質問

別府の温泉文化学ぶ場を

近鉄跡地の活用は

日本共産党の猿渡（えんど）久子市議は、別府駅前の近鉄跡地について質問。「民間の会社が購入し当面駐車場になったが、市民のみならずから今後の活用について中心市街地の活性化に役立つものになるのか、との声がある。購入した会社に要望すべき」と求めました。



当面の利用として有料駐車場がオープンした近鉄跡地

まちなか交流館で

担当部長が「中心市街地の重要拠点である。先方と会って話したが、中心市街地活性化基本計画も参考にさせていただけると聞いている。今後については十分協議し、活性化を図れる施設になるよう要請していきたい」と答弁がありました。

小さくても輝く自治体フォーラムIN九重で、地元を知ることから始まり元気になっていく多くの自治体の取り組みが紹介されました。えんど久子市議は、この自治体フォーラムで多くを学んだことを紹介しながら、「市民がもっともつと別府の温泉を楽しみ歴史を学ぶことで、ますます別府を好きになり、自慢したくなるようになるのでは。それは活性化につながる。市民や観光客に別府をもっと知ってもらうために、ソルパセオ銀座のまちなか交流館を温泉文化資料館的に使えないか」と質問しました。「貸し館利用もできる施設で常設は難しいが、その方向で検討したい」と答弁がありました。

別府市議会HPで本会議の録画をご覧ください。日本共産党別府市議団やえんど久子のHPもご覧ください。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.609
2014.6.25.

えんど久子市議 6月市議会一般質問で求める

共同温泉は別府の財産

江戸時代の温泉保養ランド

猿渡（えんど）久子市議は、江戸時代の照湯の絵や明治初頭の浜脇温泉の絵のパネルを示し、別府の温泉の歴史を多くの市民にもっと知ってもらおうと提案。当時照湯は江戸時代の温泉保養ランド。今の照湯にも当時の洗い場の石の床が使われています。

温泉冷却装置などに支援を

別府の財産である共同温泉は運営が大変です。市民と議会との対話集会で「市が支援を」と切実な声がありました。

えんど市議は「湯雨竹（ゆめたけ）のような水を使わず温泉を冷やす設備に対し補助を含め支援ができないか」と質問。「いろいろな議員がこの件で水道代の補助など質問してきましたが、具体的にない」と具体化を求めました。「共同温泉は別府独自の温泉文化として継承していかなければならない。技術的な支援を検討したい」との答弁でした。



浜田温泉資料館

別府の温泉いくつあるの？

別府に温泉はいくつあるのか数えたところ、250ヶ所まで確認できました。

市のパンフによると、市営19、その他77、組合員のみ38、計134。市のパンフとのダブリを除いた温泉本にある民間やホテル旅館の誰が入れる温泉が58。（温泉本にある誰もが入れる温泉の計は141）ホテル旅館組合の加盟名簿から温泉本とのダブリを除くと58。計250（日出・足湯・休業中を除いた数）

他にもホテル旅館や組合員だけアパートの住人だけが入れる温泉も。斎藤雅樹さんは400ヶ所ほどあると言っています。